

各イベント開催内容

8/18

第3回親子サマーフェスタ

と き 8月18日(日) 13:00~16:00
と ころ ヒューマンわーくぴあ徳島全館(徳島市昭和町3丁目35-1)
主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
問合せ先 ☎088-625-8387
参加費 無料
参加者 250名
概 要 「仕事と生活の調和」「家族の大切さ」をテーマに労働者福祉事業団体、NPO・ボランティア団体などの協力のもと、様々なイベントが繰り広げられ、親子連れなど約250人が参加しました。小松義明労福協会長の主催者挨拶、県商工労働部労働雇用課の三崎晃課長補佐の来賓挨拶の後、風船匠じよにいさんのバルーンショーで開幕しました。

親子木工教室・親子陶芸教室・絵手紙教室の各会場には参加券を手にとった多くの親子連れが訪れ、スタッフや講師の指導のもと、夏休みの思い出となる作品を作りました。親子写真撮影の会場では、撮影を希望する家族の列が後を絶たず、予定を大幅に超える家族の記念撮影が行われました。おもちゃ病院の会場では、壊れたり動かなくなったりしたおもちゃを、スタッフの方々が心を込めて直してくださいました。子ども服詰め放題の会場では、所狭しと並べられた色とりどりの子ども服を来場者が袋いっぱい詰めていました。フリーマーケットの会場では、手作りの手芸作品や木工作品の出店をはじめ、マッサージやメイクアップのコーナーなど多彩なお店が並び、来場者は出店者との会話を楽しみながら気に入った品を買い求めていました。

夏休みも終盤に近づいた日曜日の午後のひととき、会場を包んだ親子の笑顔と歓声に、親子サマーフェスタがこれからも回を重ね、たくさんの方に毎年この日を楽しみにしていただけるようなイベントに成長することを願いました。



8/25

あい♥あいフェスティバル

と き 年8月25日(日) 10:00~15:00

と ころ アスティとくしま
主 催 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先 ☎088-655-2940
参加費 無料
参加人数 2,000名
概 要 1階多目的ホールではファミサポを中心とした「子育て応援ブース」やNPO法人による「社会貢献ブース」をかまえ、多くの家族連れでにぎわいました。3階第一特別会議室では、徳島市サービスセンター「第2回あわ〜ず徳島会員交流会」を同時開催し、有森裕子氏を講師に招き、「私の社会貢献」と題し、プロマラソン引退後の17年間の社会貢献活動について、講演をいただきました。昨年度事業から社会貢献活動にも取り組んでいることから、多くの人に主旨を理解いただき、社会貢献活動に参加していただけることを目的に170名の参加者があり、好評でした。午後からは、1階多目的ホールで有森裕子氏によるジョギング教室を開催し、走る前の準備体操から走り方など実践を踏まえ指導があり多くの人が汗を流しました。



10/26～11/10

みかん狩り in 勝浦

と き 2013年10月26日(土)～11月10日(日)の16日間
と ころ 勝浦町内の観光みかん園
 井戸端みかん園、勝浦観光壺園、パイロット松下園
主 催 徳島中央ライフサポートセンター
協 賛 県民と働く者のとくしまフェスタ2013
 徳島県労働者福祉協議会 四国労働金庫徳島支店 全労済徳島県本部
後 援 徳島県観光協会
問合せ先 ☎088-623-4105
参加費 大人200円(通常700円)、小人(小学生)200円(通常450円)
 幼児(3歳以上小学生未満)200円(通常350円)の優待料金
参加人数 557人(大人410人、小人及び幼児147人)
概 要 「県民と働く者のとくしまフェスタ2013」のイベントとして、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「みかん狩り in 勝浦」を行いました。
 10月初旬から優待券の配布を始め、大人券519枚、小人券(幼児を含む)228枚、計747枚を配布しました。期間中、大人410人、小人及び幼児147人、計557人と多くの皆さんが勝浦町内の観光みかん園でみかん狩りを楽しみました。



優待券利用率は、大人 79.0%、小人 64.5%、計 74.6%と、昨年の 41.3%を大きく上回る状況でした。配布先を市郡別でみると、徳島市が 63.9%、板野郡が 9.9%、阿南市が 9.2%となっており、また、一部みかん園の状況ではありますが、利用者の状況を市郡別でみると徳島市が 58.8%、小松島市が 10.3%、板野郡が 9.3%と、配布先、利用状況ともに、みかん園に近いことや人口の多い地域が上位を占めています。

なお、今年のみかん狩りを楽しむだけでなく、入園時にスピードくじを実施いたしました。観光みかん園の協力により、景品は地元特産品を用意して頂き当選された方は2重の喜びがあったようです。

11/2

県民と働く者のとくしまフェスタ 2013 開会式典 & 第6回わーくぴあフェスタ

と き 11月2日(土) 10:00~15:00
 と ころ ヒューマンわーくぴあ徳島全館および駐車場
 主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
 問合せ先 ☎088-625-8387
 参加費 無料
 参加人数 開会式典 130名
 わーくぴあフェスタ 230名



〔オープニングアクト〕
オカリナ “カーネーション”



主催者挨拶



第3回親子サマーフェスタ
「夏休みの思い出」表彰式

〔来賓〕

県商工労働部 清水英範 副部長
 市経済部 森 久寿 経済政策課課長
 徳島労働局 金内 久 労働基準部長



NPO法人・福祉事業団体による模擬店
(おにぎり、焼きそば、有機野菜、椎茸等)



ぼうさいカフェ



わーくぴあ森ブース



素人のど自慢大会



あわサポ「ミサンガ」販売



みんなで歌おう♪

開会式典では、オープニングアクトとして「カーネーション」視覚障害の方々によるオカリナで夜明けのスキヤットなど3曲演奏していただきました。心に染み入るオカリナの音色に、参加者は大きな拍手を送っていました。会場が一つになったなか、労福協の小松義明会長、実行委員長の河村和男連合会長が主催者を代表してあいさつしました。ご来賓の方々からは「県民と働く者のとくしまフェスタ」と名称を改めて一年、さらに広く県民が参加できるイベントへと発展することを期待する趣旨のメッセージをいただきました。「夏休みの思い出(絵画)」では、幼児・小学校低学年・高学年の各部優秀作品表彰を行いました。

素人のど自慢では、28名の出場者が自慢ののどを披露し、たくさんの拍手を浴びていました。今年が目玉は全労済による「防災カフェ in とくしま 2013」で、映像やパネルによる災害や防災に関する情報提供、非常食の実演などを行いました。昨年も好評だった陶芸・絵手紙講座やドングリを使ってトトロの置物をつくる「わーくびあのみもり」ブースでは、若い親子が思い思いの作品をつくっていました。出店コーナーでは、準備した食品や商品が売切れ、終了1時間前に片付けを始めるブースもありました。

終了後には、フリーマーケットを主催した方々から、「楽しかった」「昨年より喜んでもらえました」と声をかけてくださる方もいて、充実した秋の一日になりました。

《素人のど自慢大会 結果》

1位 伊喜木 初江 2位 正木 明 3位 安曇野 茂
特別賞 嵯峨山 豊子 四宮 國一 酒巻 勝巳 和田 淳子

11/2

ぼうさいカフェ in とくしま2013

と き 11月2日(土) 10:00~14:00
と ころ ヒューマンわーくびあ徳島 302号
主 催 全労済徳島県本部
問合せ先 ☎088-625-2340
参加費 無料
参加人数 150名



概要 ぼうさいカフェ in とくしま 2013「いろいろな非常食を食べてみよう」を開催しました。地元の防災関連情報と非常食ビュッフェを中心に、防災アニメの放映や防災クイズ、新聞サバイバルグッズの製作体験など、誰もが楽しめるメニュー構成で地元住民に対する防災啓発運動を実施しました。たくさんの来場者があり、また新聞取材も受けるなど終日活況を呈しました。

11/8

★「インターンシップ・職場体験学習」推進セミナー

と き 11月8日(金) 13:30~16:00
と ころ ときわプラザ(男女共同参画交流センターフレアとくしま) 2F 研修室
主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
後 援 徳島県教育委員会、徳島県経営者協会、徳島県商工会議所連合会
徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会、徳島県中小企業家同友会
問合せ先 ☎088-625-8387
参加費 無料

参加人数 58名（行政関係 5名、企業関係 21名、学校関係 15名、加盟団体 17名）

概要

1. 基調講演

「縁情恩」ウェットなマッチングで地元企業と若者をつなぐバイターンの試み
株式会社シェアするココロ 代表取締役 石井 正宏 氏

2. 事例報告

「学生職業体験に関わる活動を行っている地元企業」

株式会社ネオビエント 代表取締役 藍原理津子 氏
総務グループ長 吉岡 旭 氏

株式会社昌栄 執行役員総務担当常務 後藤 育生 氏
製造部製造課長 友川 貴夫 氏

3. はぐくみ支援企業を応援する徳島県の取組みについて

徳島県商工労働部労働雇用課

教育（学校）と雇用（職場）を切れ目なくつなぐ「バイターン」をテーマにとりあげました。基調講演では、石井氏よりバイターンの仕組みおよび取り組みをお話いただきました。バイターンを実施するには学校ではなく企業の現場で学べるよう地域の企業に依頼し、地域ぐるみで子どもを育てる環境が必要です。「バイターンは、就職を希望する若者にアルバイト経験をさせることにより、自信を持たせ、進路未決定の悩みを解消できます。また、就労に繋がるだけが成功ではなく、バイターンによって自分の適性を把握することができます。」と説明がありました。



続いて、事例報告では学生の職場体験学習を受け入れているネオビエントと昌栄の2社から報告がありました。「社員は指導をとおして自身の業務を再認識でき、若手社員の育成に繋がります。また、学生は興味や関心を持った仕事を体験でき、就職におけるミスマッチを解消できます。」と職場体験学習は、企業・学校の双方にメリットがあると発表されました。

行政・企業・学校の連携が進みはじめている徳島で、就労支援の一つのツールとしてこの取り組みをどう仕組み化していくか今後の課題であります。

11/10

ゆとり・癒しのウォーキング -紅葉と温泉の祖谷渓谷-

と き 11月10日（日） 8:00~18:00

と ころ 三好市池田町・西祖谷山村

コ ー ス 池田町祖谷溪展望台~西祖谷ふれあい公園

10km（第1組・第2組） 3km（子ども用コース 第2組のみ）

主 催 徳島西部ライフサポートセンター

共 催 連合徳島西部地域協議会、四国労金池田支店・鴨島支店推進委員会
全労済徳島県本部

後 援 三好市

問合せ先 ☎0883-72-8611

参加費 無料

参加人数	101名（大人64名、小人17名、スタッフ20名）
概要	<p>（内訳：1組42名、2組10kmコース10名、3kmコース29名、スタッフ20名）</p> <p>前日の天気予報は、終日雨であり、当日も朝から雨が降っていましたが、受付開始の8時半ごろになると、雨もやみ始め、なんとか「ゆとり・癒しのウォーキング」が出来るようになりました。紅葉も、実施時期が昨年より1週間ほど早いということもあり、真っ盛り一歩手前というところではありましたが、祖谷の溪谷美を堪能することが出来ました。</p> <p>池田バスターミナルからバスに分乗してウォーキングコースに移動、10キロコースと3キロコースに分かれ散策しながらゴール地点をめざしました。子供たちには、コースに「アンパンマンシール」を3箇所設置し、シールを3枚集めるとゴールでお菓子のプレゼントがもらえるという特典もありました。</p> <p>ゴール後は、かずら橋やモノライダー、そして秘境の湯の温泉に入って、ゆとりと癒しの時間を過ごしてもらいました。特に、子供たちに人気だったのはモノライダーで、大きな歓声が起こっていました。</p> <p>ウォーキングのイベント中は雨も降らず、池田へ帰ってきて、イベント終了後に、たまらず雨が降り始めるというラッキーな1日でした。</p>



11/14

「たんけんの秋」紅葉の山里散策

と き	11月14日（木）8：30～16：50
と ころ	上勝町（殿河内溪谷・百聞滝・慈眼寺） 佐那河内村（大川原高原）
主 催	徳島県高齢・退職者団体連合
問合せ先	☎088-655-4105
参加費	2,000円
参加人数	28名
概要	<p>徳島県高齢・退職者団体連合は「県民と働く者のとくしまフェスタ 2013」の一環として、「たんけんの秋」紅葉の山里散策を実施しました。</p> <p>当日、午前8時30分にJR徳島駅前を出発、一路上勝町をめざし、10時過ぎには目的地の殿河内溪谷に到着しました。紅葉はちょうど見頃で、素晴らしい景観を觀賞しながら、全員が徒歩で勝浦川に沿って散策し、紅葉の山里を楽しみました。また、上勝町といえば棚田です。日本の百選にも選ばれている棚田に、参加者は感動しながら、晩秋の1日を過ごしました。</p>



11/23

第18回「自然とふれあう健康ウォーク」

と き 11月23日(土) 10:00~12:00
 と ころ 阿南市スポーツ総合センター(阿南市七見町下川田 100-1 番地)
 主 催 徳島南部ライフサポートセンター
 共 催 連合徳島南部地域協議会
 問合せ先 ☎0884-24-9501
 参加人数 約 250 名
 概 要

参加呼びかけを阿南市広報等で掲載したため、事務所に「参加したい」との問い合わせが何件ありました。

当日は天候にも恵まれ、阿南市スポーツ総合センター前から約5キロウォーキングに出発しました。ベビーカーでの参加もあり、全員が事故もなく1時間程度でゴールしました。

その後、子どもの宝探し・参加者全員の抽選会を行い、全労済賞・四国労金阿南支店長賞・連合南部議長賞等の当選者発表!そして、特等の5万円相当の商品券は阿南市内の子どもさんが射止めました。最後に参加者全員に参加賞を渡し、「2年連続当たらなかったけど、来年もまた来る」と言う有り難い感想をいただきながらイベントは終了しました。

なお、子どもの宝探しで残ったお菓子は、市内の児童福祉施設へお渡ししました。参加された皆さん、実行委員の皆さん、大変お世話になりました。



12/3

第21回労働者福祉メーデー

と き 12月3日(火) 13:30~16:00
 と ころ 徳島グランヴィリオホテル
 主 催 徳島県労働者福祉協議会 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
 問合せ先 ☎088-625-8387
 参加費 無料
 参加人数 60名
 概 要

基調講演「生活困窮者自立支援と新しい地域福祉」

講師：宮本 太郎 氏

中央大学法学部教授(社会保障制度改革国民会議委員)

事業紹介「とくしま生協の取り組みについて」

報告：細川 尚光 常勤理事

2014年度労働者福祉に関する重点課題について

第21回労働者福祉メーデー宣言採択



第21回労働者福祉メーデーが徳島グランヴィリオホテルにおいて開催されました。小松 義明労福協会長の主催者代表挨拶、県労働雇用課の新居 清一課長の来賓挨拶の後、中央大学法学部教授で内閣府社会保障制度改革国民会議委員の宮本 太郎氏による基調講演が行われました。

「生活困窮者支援と新しい地域福祉」と題した講演では、まず、これまでの現役世代は正規社員が標準世帯を養い、社会保障はそこから外れた人々と高齢世代に限定されていたが、1995年頃を境に公共事業が減り始め、非正規雇用が増加し日本型生活保障は解体に向かい、排除型のライフコースが拡大していったという生活困窮者を生み出す社会的背景が述べられ、こうした事態に労福協運動も新しい発想でのぞんでいかなければならないだろうと問題提起がなされました。

続いて、雇用が劣化し現役世代にも支えが必要になってきたにもかかわらず、社会保障はそのまま経過したことが、生活保護受給者の拡大につながったことを「ツナ」と「アミ」に例えて、「ツナが劣化し細くなり（非正規雇用）」そこをサポートするはずのアミ（セイフティネット）が欠落し、どんどん落ちている状況であり、「アミ」にコーティングをして太くするには、「給付付き税額控除」のような税と社会保障の一体改革が必要であることを強調されました。

労働者福祉メーデー開催から10日後の12月13日に成立した生活困窮者自立支援制度については、就労準備支援事業・家計相談支援事業・学習支援事業・住居確保給付金の4つの柱を自立相談支援事業で束ねるという制度の体系について解説があり、自立相談支援事業と社会福祉事務所の関係構築が今後の課題として挙げられました。

中間的就労の場づくりについては、市役所市民協働部が無料職業紹介事業を実施し、商工会議所と連携して中間的就労の場を提供している豊中市の事例を紹介し、地域の実情に合ったネットワークをどう作っていくかが問われるという問題提起がありました。また、生活に困窮している若者を、高齢者向け生活支援サービス付きの住宅提供のために率先して雇用している大阪市のNPO法人サポータィブハウス連絡協議会の取り組みなど、先進的な生活困窮者支援の事例紹介もありました。

結びに、「地域における働く者の支え合いの仕組みを担ってきた労働者福祉事業は、現役世代が経済的にも、つながりの上でも、数の上でも弱まってきているという時代と課題に直面している。こうした変化を受けて、生活困窮者自立支援法、地域包括ケアシステムなど地域福祉の新しい制度が導入されつつある。このような新しい条件と制度の中で労働者福祉のこれからの取り組みが問われている。」と参加者にメッセージを投げかけお話を締めくくられました。

続く事業紹介では、とくしま生協の細川 尚光常勤理事から、1984年11月に創立し、まもなく創立30周年を迎えるとくしま生協の取り組みについて詳しい紹介がありました。4支所を拠点に班配達・個別配達により県下一円に展開している宅配事業をはじめ、店舗事業、共催事業などの基幹事業のほかにも、庭木の剪定や網戸の張り替えなど多様なニーズに応えるくらし助け合いの会、組合員の協力による募金活動、子育て支援活動などの地域貢献事業、ピースアクションリレーなどの平和活動、特定子会社ハートフルコープの運営、一般家庭100軒分の年間発電量を産出する太陽光発電事業など、多彩な事業を展開していることがわかり、身近な生協の存在感を改めて感じた報告に参加者も熱心に耳を傾けていました。

2014年度の労働者福祉に関する重点課題については、藤森 申二労福協専務理事より提案され、最後に兼松 文子労福協事務局次長が第21回労働者福祉メーデー宣言案を読み上げ、全員の拍手をもって採択され閉会しました。

2014/3/23

ファミリー・ふれあい・フェスティバル

と き	2014年3月23日(日) 10:30~16:00
と ころ	徳島県立あすたむらんど
主 催	連合徳島、県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
共 催	徳島県立あすたむらんど
問合せ先	☎088-625-4105
参加費	無料
参加人数	6,523名
概 要	10:30 開会あいさつ 10:40 取り組み紹介(午前の部) 11:30 キャラクターショー(仮面ライダーガйм) 13:30 取り組み紹介(午後の部) 14:30 キャラクターショー(仮面ライダーガйм) ◇宝探し、スタンプラリー(あすたむらんど徳島提供) ◇模擬店 ◎東日本大震災復興支援物販(岩手・宮城・福島の商品を販売) ◎労働相談、生活相談 ◎ホットドック、フライドポテト、クレープ他飲食物 ◎綿あめ、飲み物販売

「県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会」の一環の事業として「ファミリー・ふれあい・フェスティバル」を開催しました。小春日和の中、総入場者6,523人を集約しました。仮面ライダーガймショー効果もあり、会場はあふれんばかりの観衆で埋め尽くされ、子どもたちの歓声が響き渡りました。

また、東日本大震災復興支援として、岩手・宮城・福島の特産品も販売しました。さらに、労働相談・生活相談ブースも設け、多くの家族連れが訪れました。



毎月第1金曜日は徳島若者交流の日~とくしま遊ばん Day!

11月17日(日)は家族の日

11月10日(日)~23日(土)は家族の週間

毎週水曜日はノー残業デー